

すみだトリフォニーホールの大規模修繕に向けた考え方について

本区の音楽都市づくりの拠点である「すみだトリフォニーホール」(以下「ホール」という。)は、1997年の竣工から26年が経過し、特定天井の耐震化などの法対応項目とともに、施設の長寿命化を目的とした大規模な修繕や更新が必要な時期を迎えている。

区では、令和3年度に「ホールのあり方」とともに「今後の修繕の考え方」を区議会に報告するとともに、令和4年度以降、コンストラクション・マネジメント委託による与条件整理結果を踏まえ、緊急性の高い修繕・更新を実施してきた。今後も長期的に施設の安全性・快適性を確保し、区民への鑑賞機会の提供と地域の音楽活動の推進を図っていくため、施設を一時的に休止した上で大規模修繕工事を行う。

1 主な工事内容

(1) 特定天井の耐震化(改正建築基準法施行令への対応)

大ホール、小ホールについては、現行の法令基準上において既存不適格である天井を撤去し、音響特性に影響を与えないよう新しい天井に作り変えた上で、建物と天井を一体化(準構造化)することで耐震化を図る。

(2) 特定天井の耐震化以外の主な工事内容一覧

| 種別 | 改修項目 | 改修内容 |
|--------------|--------------------------------------|------------------------------|
| 長寿命化 対策等 | 衛生設備、空調設備、防災関連設備、 電気設備、舞台関連設備等の更新 | 老朽化した箇所を中心に更新 |
| | 昇降機更新 | 一部の部品更新 |
| | 外装更新 | 外装タイル補修、クリーニングほか |
| | 内装更新 | 客用通路カーペットの更新、客席のク リーニングほか |
| バリアフ リー対応 | バリアフリースイールの増設 | 2か所を増設(計8か所へ) |

2 事業スケジュール(案)

(1) 基本設計 令和7年度

(2) 実施設計 令和7～8年度

(3) 大規模修繕等工期 令和9年1月～令和11年3月(準備3か月を含め27か月)

※ 大規模修繕終了後に、パイプオルガンのオーバーホールを実施する。

※ リニューアルオープンは令和11年度中を予定している。

3 修繕計画の概要（コンストラクション・マネジメント委託事業報告に基づくもの）

| 主な工事内容 | (1) 緊急性の高い修繕 | | | | (2) 大規模修繕 |
|--------|---|---|--|--|--|
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年以降に予定 |
| 外装工事 | | ・ガラスシーリング更新 | | ・屋上防水工事 | ・外装タイル補修、塗装更新、クリーニング |
| 内装工事 | | | | | ・特定天井耐震化改修 ・各階WC更新 ・昇降機制御リニューアル |
| 各種設備工事 | ・舞台照明設備更新 ・舞台音響設備更新 | ・受変電設備更新 ・排煙設備更新 ・舞台照明設備更新 ・舞台音響設備更新 | ・受変電設備更新 ・誘導灯更新 ・給水機器設備更新 ・衛生器具設備更新 ・舞台照明設備更新 ・舞台音響設備更新 | ・受変電設備更新 ・自動火災報知設備更新 ・誘導灯、誘導標識更新 ・非常照明設備更新 ・自動制御設備更新 | ・受変電設備更新 ・防犯警備設備更新 ・消防設備更新 ・舞台床機構設備更新 ・舞台照明設備更新 ・舞台音響設備更新 ・LED器具への更新 ・パイプオルガンのオーバーホール |
| 概算経費 | 23 百万円 | 169 百万円 | 157 百万円 | 304 百万円 | 4,606 百万円 |
| 小計 | 653 百万円 | | | | 4,606 百万円 |
| 合計 | 5,259 百万円（うち、特定天井耐震化関連工事費 2,335 百万円） | | | | |

令和5年10月31日時点。金額に消費税、基本設計費、実施設計費、音響設計費は含まない。

4 工事経費

上記3に記載する金額については、令和元年に算出した概算金額をベースにしており、近年の物価上昇による影響は考慮していない。工事経費の詳細は、今後実施する設計の段階で検討していく。

5 音響性能の担保

最高水準の性能を有するホールの音響特性を維持するためには、現状の天井形状を維持してホールの音環境を考慮した耐震化を進める必要がある。このため、設計から工事の各段階で音響設計者の監修を受けるとともに、音響測定を適宜行いながら工事を進めることで音響性能を担保する。

6 財源の確保

北斎ふるさと納税の活用に加え、ホールのファン層に訴求し、ファンドレイジングの具体策につなげていく。